



< 2000

< 1990

1983年(昭和58年) 多治見国際協会が発足する(会員／法人120・個人150)。

1984年(昭和59年) 防災行政同報無線を市内90カ所に設置する。

1985年(昭和60年) 総合体育館が完成する。

東濃信用金庫初代理事長の関谷源吾氏、多治見商工会議所初代会頭の加藤庄六氏、中部圏産業の振興に貢献された加藤乙三郎氏が名誉市民に推挙される。

1986年(昭和61年) 初の国際陶磁器フェスティバルが開催される(会期11月2日～9日、入場者数11万198人)。

1988年(昭和63年) 多治見国際協会がテラホート市へ中学生を派遣する。

1989年(平成元年) 総合福祉センターが完成する。

1990年(平成2年) 三の倉市民の里(地球村)が完成する。

1991年(平成3年) テラホート市の中学生が多治見市を親善訪問する。

1992年(平成4年) かさはら潮見の森が開園する。

1993年(平成5年) 太平公園が完成する(1・7ヘクタール、16億円)。

1994年(平成6年) 産業文化センターが完成する(8319平方メートル)。

1995年(平成7年) 太平公園が完成する(1・7ヘクタール、16億円)。

1996年(平成8年) 瑞浪市内で水道管事故。多治見市、土岐市、瑞浪市で断水となる。

1997年(平成9年) 鈴木藏氏が重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される。

1998年(平成10年) 加藤卓男氏が重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される。名誉市民に推挙される。

1999年(平成11年) 「たじみのうた」が公開審査により選ばれる。

2000年(平成12年) 市街化区域及び市街化調整区域の設定(線引き)がされる。

2001年(平成13年) 指定ごみ袋制がスタートする。

2002年(平成14年) 学習館・図書館を備えた「まなびパークたじみ」が完成する(9204.09平方メートル)。

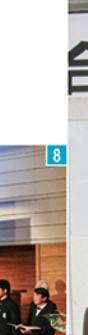
2003年(平成15年) FMたじみ(FM P-i-P-i)が開局される。

2004年(平成16年) CATV「オリベネットワーク」が開局される。

2005年(平成17年) 「第14回国民文化祭・ぎふ99」が開催される(合唱の祭典、オリベフェスティバル、陶磁器産業フェア)。

2006年(平成18年) ごみ23分別による資源ごみ収集を市内全域で開始する。

- 1 平成4年：多治見駅南地区
- 2 平成9年：オープン当時のまなびパークたじみ
- 3 平成10年：FM PiPi開局イベント
- 4 平成11年：開局当初のオリベネットワーク社屋



- 5 平成12年：全国高校総合体育大会
- 6 平成13年：たじみ創造館オープン
- 7 平成16年：合併協定調印式
- 8 平成18年：多治見市・笠原町合併記念式典
- 9 平成20年：うながづば特別住民票を交付

2007年(平成19年) 8月16日、最高気温40.9度を記録し、74年ぶりに国内の観測史上最高気温を更新する。

2008年(平成20年) 8月16日、多治見市マスクキャラクター「うながづば」に特別住民票を交付する。

中学生3年生に30人程度学級を導入する。

「市政基本条例」を制定する。

7月に笠原町との合併協議を開始。12月に合併協定書を調印。

東海環状自動車道が豊田東JCTから美濃関JCTの間で開通する。昭和町と浄化センター内外に雨水ポンプ場が完成する。

多治見商工会議所名誉会頭の坂崎重雄氏が名誉市民に推挙される。

小中学校に2学期制を導入する。

国道248号線南バイパスが開通する。

「市政基本条例」を制定する。

「日本緑内障学会多治見疫学調査」(多治見スタディ)の調査結果が世界大会で最優秀賞を受賞する。

昭和町と浄化センター内外に雨水ポンプ場が完成する。

多治見商工会議所名誉会頭の坂崎重雄氏が名誉市民に推挙される。

小中学校に2学期制を導入する。

国道248号線南バイパスが開通する。

「市政基本条例」を制定する。

1月23日、多治見市と笠原町が合併する。面積は77.79平方キロメートルから91.24平方キロメートルになる。

小中学校に2学期制を導入する。

国道248号線南バイパスが開通する。

「市政基本条例」を制定する。

8月16日、最高気温40.9度を記録し、74年ぶりに国内の観測史上最高気温を更新する。

8月16日、多治見市マスクキャラクター「うながづば」に特別住民票を交付する。

中学生3年生に30人程度学級を導入する。